

健康の基本「食」を通じて健康づくりを支援

～大崎市食生活改善推進員連絡協議会の10年～



大崎市食生活改善推進員連絡協議会
宮城県食生活改善推進員協議会
会長 渡邊 安子 さん

活動の概要

平成18年、旧1市6町の食生活改善推進員会によって組織される。以後、協議会として密に連携をはかりながら、それぞれの地域特性を生かした活動を展開。平成24年には、食生活改善をとおして健康づくり活動を積極的に展開し、地域の健康づくり・食生活改善に成果をあげた団体に与えられる「南・賀屋賞」を受賞。

大崎市食生活改善推進員連絡協議会では、「私たちの『健康』は、私たちの手で作り、守りましょう」を目標に、7つの地域の特性を生かしながら、市民の皆さんの健康増進につながる活動を行ってきました。

減塩・薄味を推進したり、肥満やむし歯の子どもたちが多く傾向にあるので、親子を対象にした「食育」や「歯の健康」にも力を入れてきました。

特定健診の時は、家庭で作ったみそ汁を持参いただき、塩分を計測するのですが、近ごろは8割近い皆さんが基準値に近い塩分で調理していることが伺えます。健康ブームや嗜好の変化もあると思いますが、わたしたちの地産の活動の成果が、少しずつ定着し始めているのではと自負しているところです。

また、東日本大震災の時には、全国の

食改組織から、力強い支援をいただき、全国に志を同じくする仲間がたくさんいることを心から誇りに思い、つながりの大切さを改めて感じています。

わたし自身、大病を患った経験から、健康の基本、体を作るのは「食」であると実感しています。ぜひ、多くの皆さんに仲間として加わっていただき、ご自身や家族、地域の皆さんの健康増進のために、一緒に活動しましょう。



▲市内の中学生を対象に、開催している食育教室

性別や年齢に関係なく一人ひとりが大事にされることが男女共同参画の根幹

～大崎市男女共同参画推進審議会の10年～



大崎市男女共同参画推進審議会
副会長 氏家 美津枝 さん

活動の概要

平成18年に、大崎市男女共同参画推進審議会が設置される。平成20年に大崎市男女共同参画推進基本条例が施行され、同年、市からの諮問に基づき、大崎市男女共同参画推進基本計画を答申。その後、計画に基づき市が進める男女共同参画に関する施策の進捗を見守りながら、提言、進言を行い、現行計画である第2次男女共同参画推進基本計画の審議を行う。

平成18年に男女共同参画推進審議会委員になり、初めの何年かは、市の施策の進展状況ばかりが気になり、ヤキモキした時期もありました。しかし、男女共同参画は、人の心と密接で、条例を作ったからといって急に進展するものではなく、水が浸み込んでいくように少しずつ広まっていくものだ、前審議会会長の三條秀夫先生（東北学院大学法学部准教授）に教えられ、今は、長いスパンで少しずつ、意識を浸透させていくことに視点をしています。

現在、市が高校生を対象に行っている男女共同参画に関する講座は、これからの社会を担う若い世代に、相手を大事にする気持ちや一人ひとりの個性が尊重されることが、男女共同参画の本質であることを知ってもらい、とても意義がある事業である

と思いますし、10年前に比べて、市民の意識にも少しずつ浸透しているように感じています。

男女共同だからといって、男も女も、同じことをしなければならないというものではなく、男の人の個性、女の人の個性を互いに認め合い、社会の中で融合させていくこと、お互いを尊重し合えば、おのずと男女共同参画へとつながっていくことを、市の取り組みを通じて知っていただきたいと思っています。



▶市民が主体となって進める大崎市の男女共同参画。男女共同参画推進審議会の様子。

つながる・むすぶ・つむぐ 姉妹都市のきずな



伊達の姉妹都市を結ぶ 発泡酒「あ・ら・伊達な関係」が誕生

あ・ら・伊達な道の駅開業15周年、大崎市誕生10周年を記念して

昨年、国土交通省の重点道の駅に選定され、大崎の地方創生拠点として動き出した、岩出山地域のある・ら・伊達な道の駅。今年で開業15周年を迎え、大崎市誕生10周年とも重なったことから、記念の商品開発を企画しました。

姉妹都市の名産を掛け合わせて

その結果、伊達の縁により姉妹都市盟約を結ぶ三市町の特産品を掛け合わせ、発泡酒「あ・ら・伊達な関係」を誕生させました。

材料となったのは、北海道当別町の大豆「トヨムスメ」と愛媛県宇和島市の柑橘類「ブラッドオレンジ」、そして、大崎市の新品種米「ささ結」です。

トヨムスメは、煮豆や豆腐などの加工に適している品種で、北海道を代表する大豆。ブラッドオレンジは、イタリア

が原産で、コクのある甘さと濃厚な香り、すっきりとした酸味が特徴の柑橘類です。

鳴子温泉鬼首地区の鳴子温泉ブルワリーで、約40日をかけて、熟成と発酵を行い、アルコール度数4.5パーセント、ブラッドオレンジのフルーティな甘みと酸味を生かした、女性に好まれる仕上がりになりました。

伊達な関係

愛媛県宇和島市は、伊達政宗の長男秀宗が初代藩主。北

海道当別町は、岩出山伊達家十代当主伊達邦直主従が、明治時代に移住・開拓した地であることから、両市町と旧岩出山町との間で、それぞれ姉妹都市盟約が結ばれ、大崎市に引き継がれました。

平成21年7月には、三市町ゆかりの地である旧有備館で、大崎市の仲立で、宇和島市と当別町が姉妹都市盟約を締結。「伊達な関係」の三市町はより強い絆で結ばれています。



▲4月25日、有備館の落成式典で「伊達な関係」を再確認。左から石橋寛久宇和島市長、伊藤大崎市長、宮司正毅当別町長



発泡酒 あ・ら・伊達な関係
製造本数 限定 3000 本
容量 1本 330 ml
価格 760円(税込)
あ・ら・伊達な道の駅
☎73-2236